

# 平成28年度の市長の市政方針に対し、会派を代表して質疑

今年度予算に関しては予算質疑が別にあるため予算関連以外について質疑しました。(一部を掲載)

**質疑とは、**議案のはっきりしていない点、解らない点を聞くこと。原則として「自己の意見を入れたい」とされているが、自己の見解を述べないと質疑の意味を成さないもの、根拠や過去の事業経過・データを基に執行部を追及することまで禁止しているものではない。

## どんな企業でも誘致すれば良いというものではない！

市政方針の中には、圏央道全線開通の好機を生かして企業誘致に取り組むとの方針が示されていますが、現状では市が特段の方針を示していないため質疑しました。

どんな企業でも誘致すれば良いというものではなく、雇用の増大や市の魅力アップ、ひいては定住に結び付くような企業を誘致すべきと指摘し、市長の考えを確認しました。(詳細は議会報告会にて)

## 市政方針に農業関連の記述が殆どないことを指摘！



市政方針の中では「川越の魅力を歴史と伝統ある城下町」、「年間650万人の人が訪れる観光都市」、「東京圏にありながら多くの田畑が残る田園都市」であることを本市の魅力であるとしています。そして前の2つについては多くの言及が見られる一方で、農業振興や田畑を維持する等、農業関連については殆ど記述が無いことを指摘し、市長の考えを確認しました。(詳細は議会報告会にて)

## 同じく教育委員会の教育行政に対しても代表質疑



### 情報教育で必要なのはコンピューターに慣れ親しむことなのか？

「情報教育の推進」の項では、「児童生徒がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ・・・」と記載され、情報モラル等の記載はありませんでした。今や、2歳児でもスマートフォンに親しんでいる状態であり、「慣れ親しむことよりも情報化社会での適切な対応力の形成が求められているのではないか」と指摘し、市教委の考えを聞きました。

答弁では、小学校の学校指導要領の総則に情報手段に慣れ親しむことが最初に示されていること、情報モラルを身につけることも重要と考えていると答えました。

一方で、いじめ防止についての項では、唯一具体的にインターネット上のいじめについて問題を取り上げ、対策は企業委託によるネットパトロールと記載がありますが、この問題の根本的な対策でもあり、今必要な情報教育こそ、情報モラル教育や、情報化社会の現状を教えることであると私は考えます。

## 築30年以上の小中学校の大規模改造工事 計画完了まで20年も？

当初の計画では、築30年を経過した棟を対象に年間小中校2校ずつ整備していく予定でしたが、この3年間の予算措置はその半分です(昨年、一昨年とも国からの補助金により結果的には補正予算を組み予定通り整備)。こうした予算措置を続ければ、計画完了までに当初予定の倍の20年掛かると指摘し、教育委員会の考え方を聞きました。答弁では「大規模改造工事は、トイレ改修や、教室への空調設備設置などの環境整備事業の中でも特に重要」と答えたものの計画と予算について明確な答弁はありませんでした。

今議会では初めて3校分の普通教室へのエアコンの設置予算が計上されましたが、老朽化対策よりエアコンの設置を優先してはならないと私は考えます。今後も訴えを続けます!(グリーンズ川越64号参照)

